

2015年3月期第2四半期 決算説明会



2014年11月21日



株式会社アドバネクス

本資料は2014年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

主な内容

1. 2015年3月期第2四半期決算の概要
2. 2015年3月期通期見通し
3. 今後の事業方針

1. 2015年3月期第2四半期

決算の概要

1-1. 第2四半期連結業績のポイント

◆中国・アジアおよび欧州が好調

中国・アジアで自動車向け等の売上が増加。英国でも医療機器向けの販売が好調。国内の営業利益は減少したものの、海外の利益率改善により、営業利益と経常利益が前年同期に比べ大幅に増加。

◆最終利益は対前年同期比19.4%増加

子会社株式の49%を本年7月に台湾企業に譲渡したことに伴い、特別利益154百万円を計上。他方、税金費用の増加や株式売却に伴う少数株主利益の増加等が発生。これらの結果、四半期純利益は対前年同期に比べ19.4%の増加となった。

1-2. 第2四半期連結業績概要

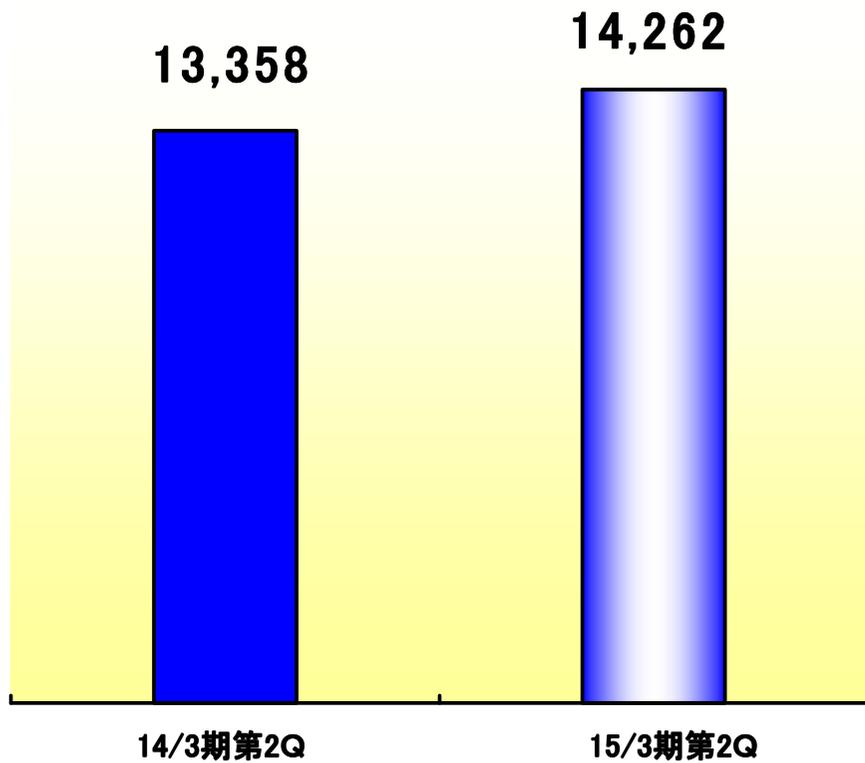
(単位: 百万円)

	2014年3月期 2Q	2015年3月期 2Q	対前期比増減	
			額	率
売上高	13,358	14,262	903	6.8%
営業利益	338	502	163	48.3%
(利益率)	2.5%	3.5%	(1.0%)	—
経常利益	294	434	139	47.3%
(利益率)	2.2%	3.0%	(0.8%)	—
四半期純利益	266	318	51	19.4%
(利益率)	2.0%	2.2%	(0.2%)	—

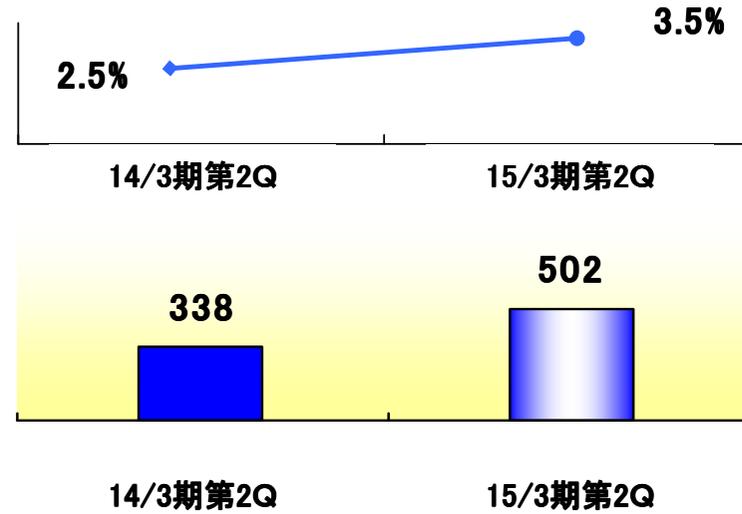
1-3. 第2四半期業績比較(連結)

売上高

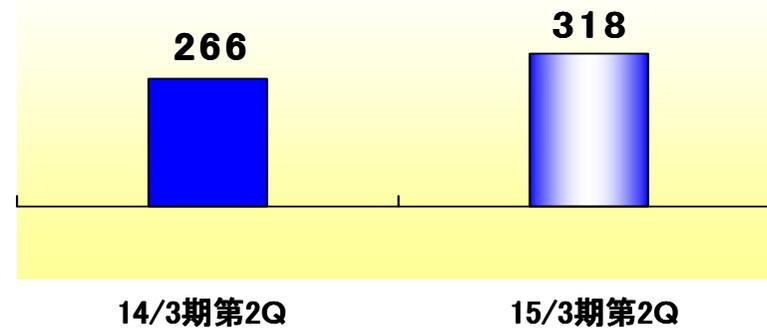
(単位:百万円)



営業利益・利益率



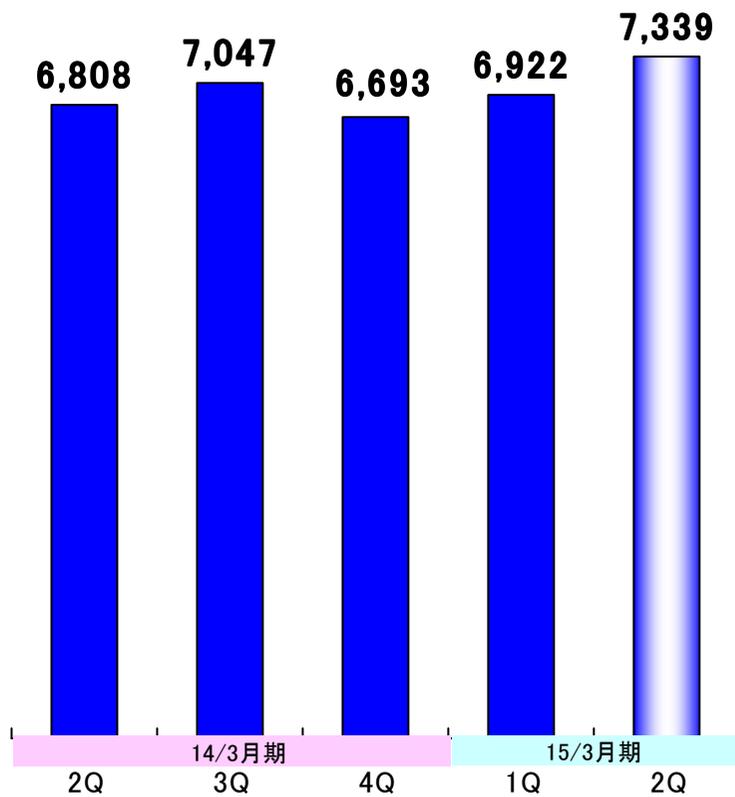
四半期純利益



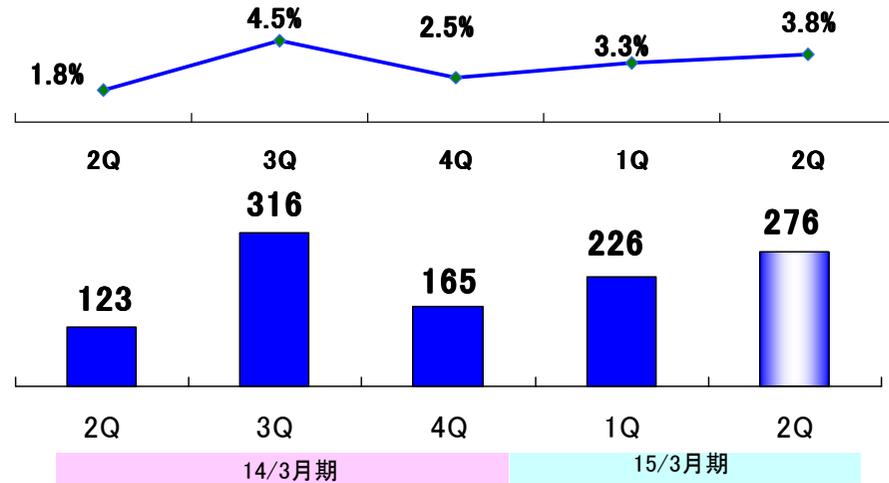
1-4. 四半期別業績推移(連結)

売上高

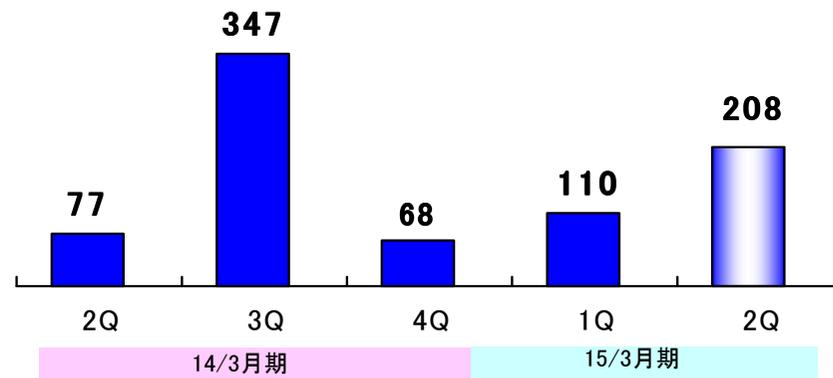
(単位:百万円)



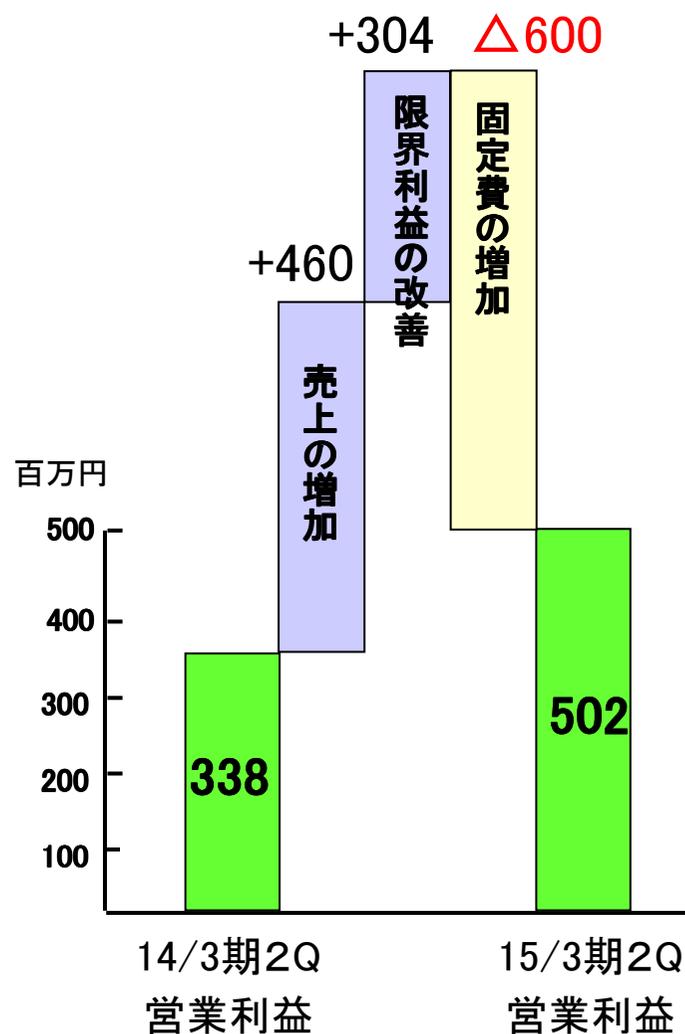
営業利益・利益率



当期純利益



1-5. 営業利益差異分析(連結)



前年同期に比べ、営業利益は163百万円増加。

●売上増加による要因: 460百万円

円安の影響の他、英国のばね事業における売上回復、船橋電子買収に伴う売上増加等の影響。

●限界利益の改善による要因: 304百万円

国内プラ事業と中国ばね事業におけるコスト削減等。

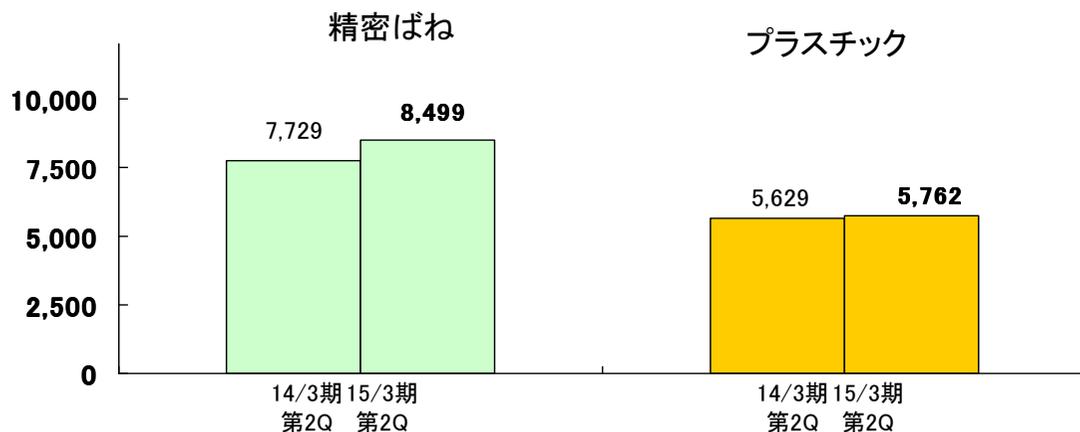
●固定費の増加による要因: Δ 600百万円

円安の影響に加え、国内や英国、中国、ベトナムにおける人件費増加、船橋電子買収に伴う経費増加等の影響。

1-6. 事業別売上高・セグメント利益

売上高

(単位:百万円)



<前第2四半期からの変動要因>

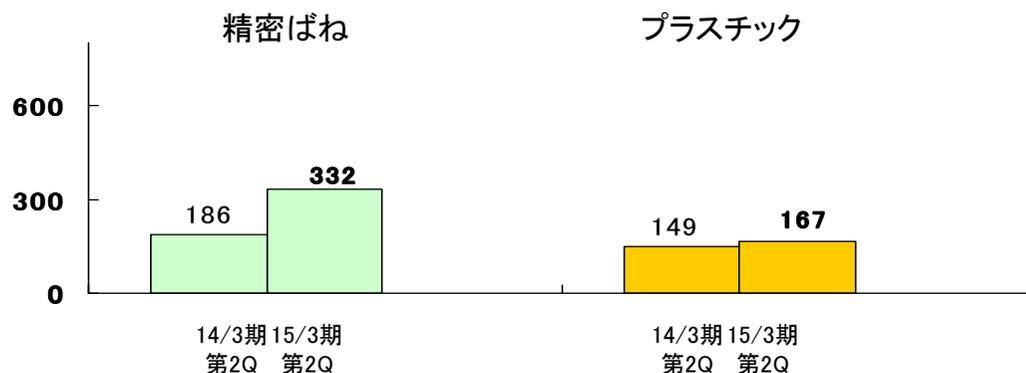
精密ばね

- ・国内は船橋電子の買収に伴い、売上が増加。船橋電子での赤字発生により、利益は減少。
 - ・海外は中国とアジアにおいて自動車向けやOA機器向けの売上高が増加。英国では医療機器向けの売上が増加。
- <売上: +10.0%、セグメント利益: 145百万円増加>

プラスチック

- ・国内の売上高はほぼ横ばい。
 - ・海外はマレーシアでAV機器向けの売上が減少したものの、中国やベトナムで自動車向けやOA機器向けの売上が増加。
 - ・国内のコスト削減によって利益が増加。
- <売上: +2.4%、セグメント利益: 18百万円増加>

セグメント利益

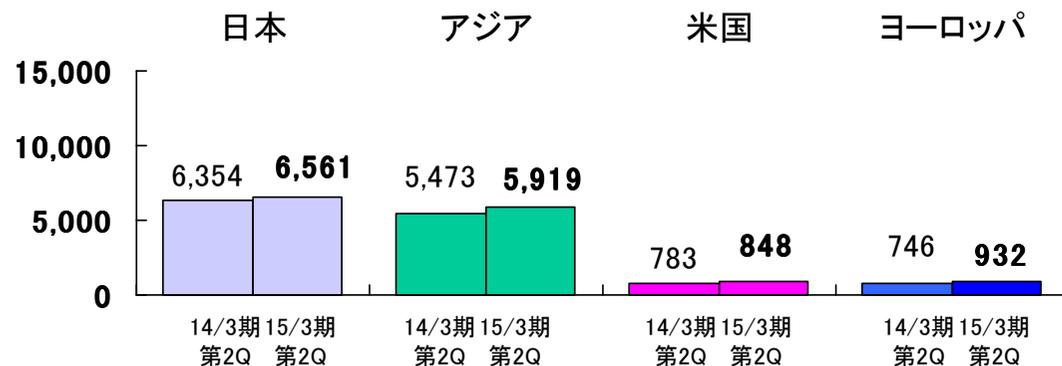


1-7. 所在地別売上高・セグメント利益

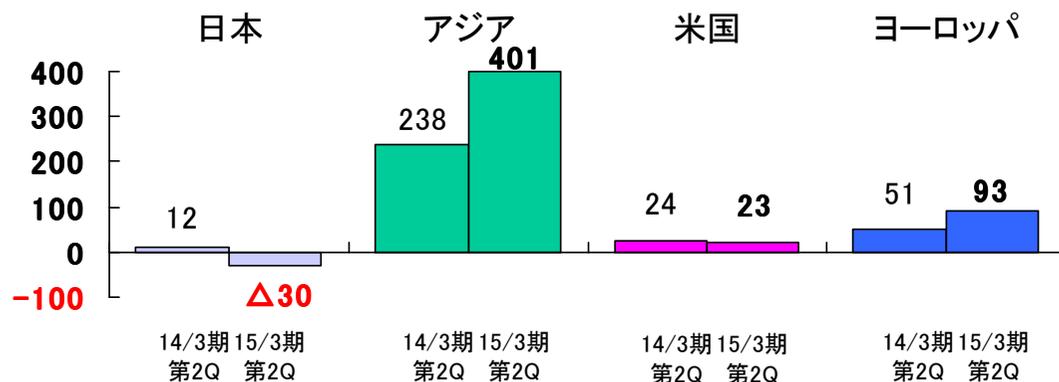
売上高

(単位:百万円)

<前第2四半期からの変動要因>



セグメント利益



日本

- ・売上高は、船橋電子の買収に伴い増加。
- ・船橋電子における赤字発生により、精密ばね事業で損失を計上。

<売上: +3.3%、セグメント利益: 42百万円減少>

海外

- ・欧州は医療機器向けの売上増加により、増益。
- ・アジアは、精密ばね事業とプラスチック事業において自動車向けやOA機器向け等の売上が増加。中国やベトナムで利益が増加。

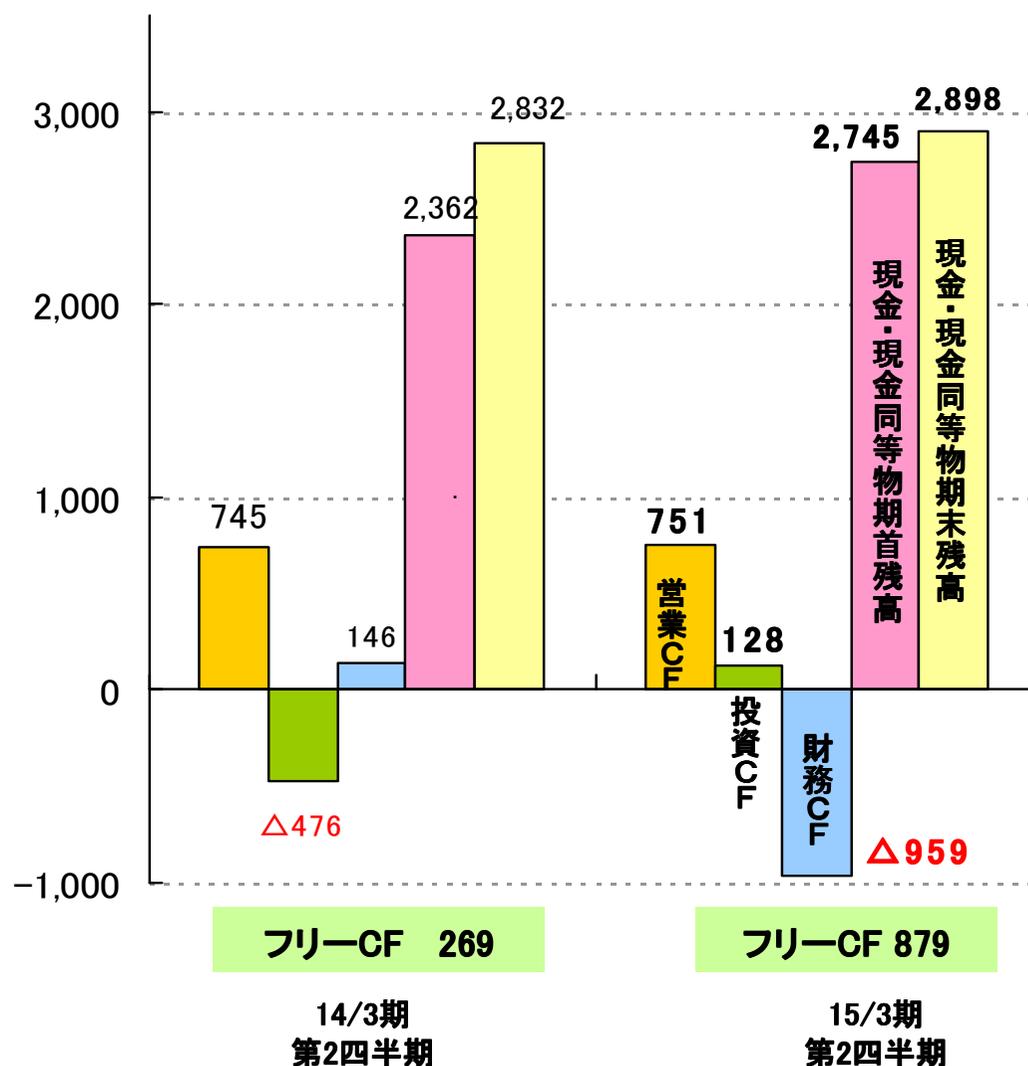
<売上: +10.0%、セグメント利益: 204百万円増加>

1-8. 連結市場別売上高

(単位:百万円)

	14年3月期		15年3月期		増減	
	上期	構成比	上期	構成比	額	増減率
自動車機器	4,804	36.0%	5,390	37.8%	586	12.2%
OA機器	3,577	26.8%	3,712	26.0%	135	3.8%
住設機器	874	6.5%	926	6.5%	52	5.9%
AV・家電	1,086	8.1%	866	6.1%	△220	△20.3%
精密機器	708	5.3%	820	5.7%	112	15.8%
医療機器	552	4.1%	655	4.6%	103	18.7%
PC・周辺機器	380	2.8%	383	2.7%	3	0.8%
携帯情報端末	250	1.9%	327	2.3%	77	30.8%
その他	1,129	8.5%	1,183	8.3%	54	4.8%
合計	13,358	100.0%	14,262	100.0%	904	6.8%

1-9. 連結キャッシュ・フロー



<15/3期第2四半期の状況>

営業活動によるCF

純利益の増加、減価償却費による資金留保等により、資金が751百万円増加

投資活動によるCF

国内と海外で設備投資を実施。他方、子会社株式の売却収入980百万円により、資金は128百万円増加

財務活動によるCF

銀行借入金の返済により、資金が959百万円減少

2. 2015年3月期通期見通し

2-1. 2015年3月期通期業績予想について

■売上高、営業利益、経常利益については従来予想を据置き

消費増税後の景気回復のもたつきにより、下期の事業環境に不透明感。

■当期利益については従来予想を減額

上期に計上した特別利益(関係会社株式売却益)が当初見込み額より減少。これに伴い、通期予想を修正。為替の前提は1米ドル108円とした。(1円の円安が経常利益に与える影響は約30百万円のプラス)

■配当金は1株当たり2円の予想に変更なし

2-2. 2015年3月期通期業績予想(連結)

(単位:百万円)

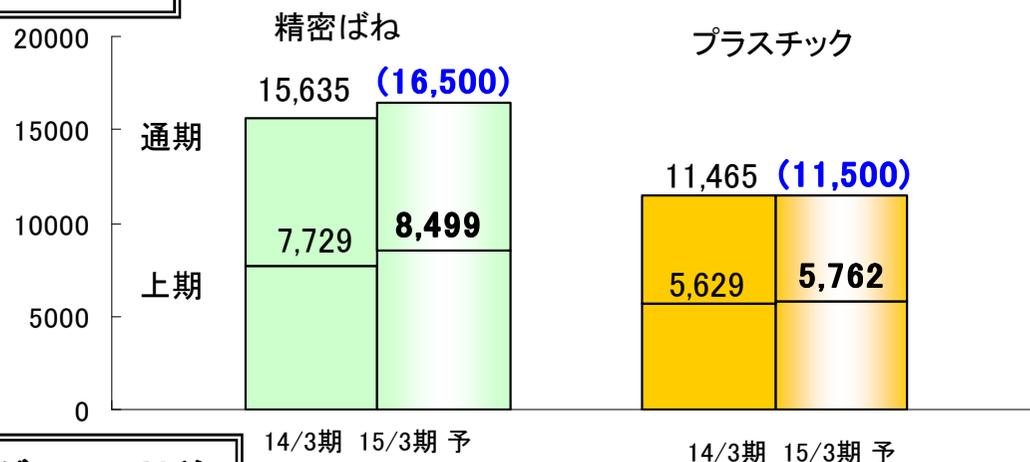
	2014年3月期	2015年3月期 通期予想	対前期比 増減(率)	前回予想 (7月1日公表)	対前回予想 増減(率)
売上高	27,100	28,000	3.3%	28,000	—
営業利益 (利益率)	820 3.0%	1,000 3.6%	21.9% —	1,000 3.6%	— —
経常利益	820	980	19.4%	980	—
当期純利益	682	740	8.4%	940	△21.3%

注)下期の為替レートは、1米ドル108円を前提としております。

2-3. 事業別売上高・セグメント利益の通期予想

売上高

(単位: 百万円)



<前期からの変動要因>

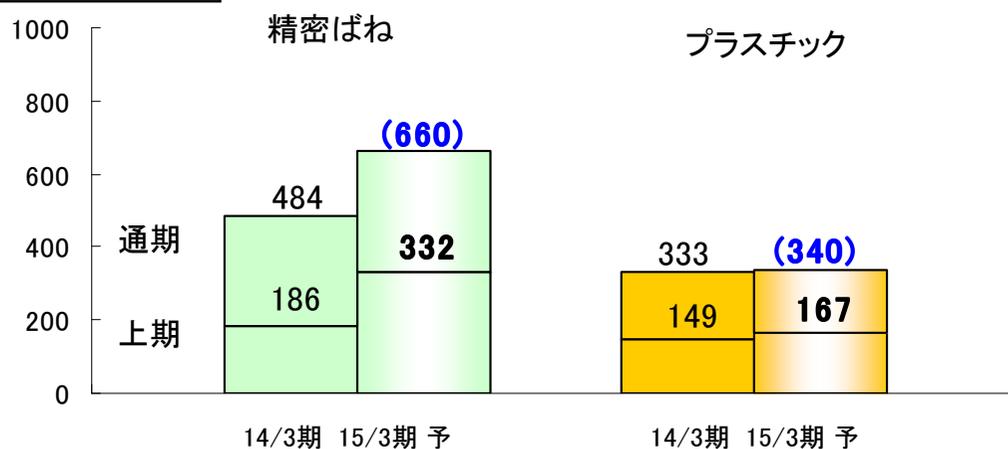
精密ばね事業

- ・船橋電子の子会社化により、売上増加。
 - ・英国と中国の売上が伸長。
- <売上+5.5%、利益+36.4%>

プラスチック事業

- ・国内・海外ともに売上横ばい。(海外はマレーシアの売上減少の影響)
- <売上+0.3%、利益+2.1%>

セグメント利益



3. 今後の事業方針

3-1. 事業の進捗状況について

今期の目標

- 1) アジアにおける精密ばね事業のテコ入れ
- 2) 常州工場の早期黒字化
- 3) 海外新工場建設計画の見直し
- 4) 国内自動車部品工場の新設
- 5) 金属加工分野における事業領域拡大

上期の進捗状況

- 1) アジア精密ばね事業の伸長
売上高+10.2% (前年同期比、含む中国)
 - 2) 下期黒字化に目途
 - 3) アジアはベトナムとインドにフォーカス。
インドに第2番目の営業オフィス開設予定
(12月、デリー)
 - 4) 埼玉工場の建設決定(年内着工予定)
 - 5) 船橋電子との事業統合進展中
- その他
- 第一化成HLDの株式49%譲渡(7月)

3-2. 常州工場グランドオープン

昨年7月に操業を開始した中国常州の子会社Advanex (Changzhou) Inc.が11月10日グランドオープン。オープニングセレモニーに約100名を招待(地元政府関係者、顧客、サプライヤー等)。セレモニーの様子は、地元テレビ局のニュース番組で放映された。



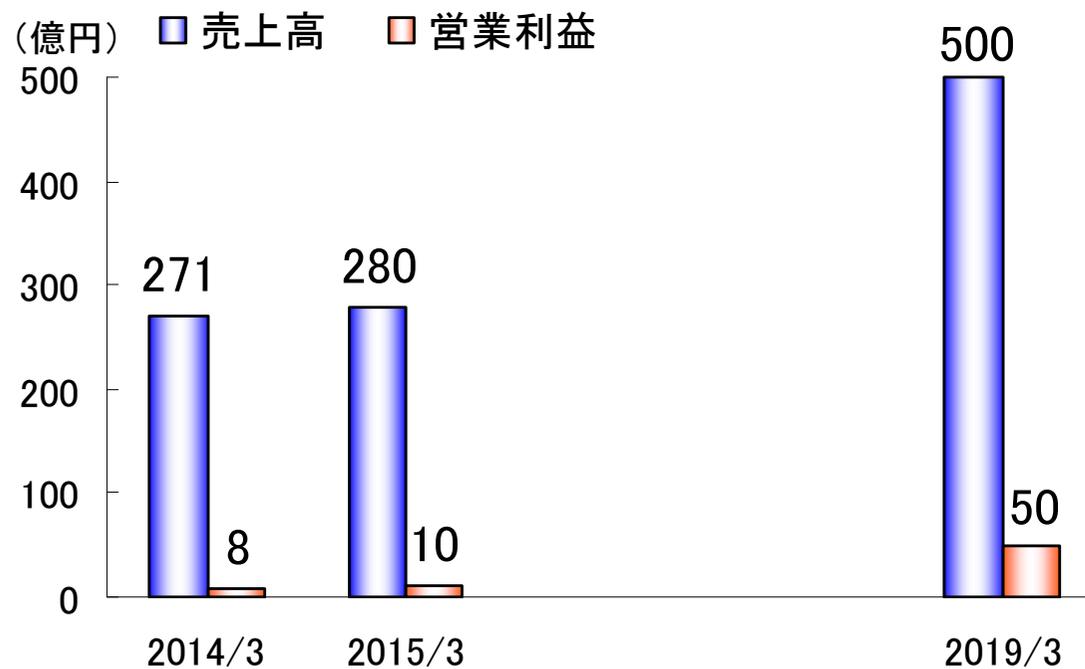
3-3. 中期経営目標

中期目標： 2019/3期(5年後)

連結売上高 500億円

営業利益 50億円

(売上高成長率 10%/年、営業利益率 10%)



3-4. 重点方針 精密ばね事業(1)

①グローバル展開の推進

- 狙い : 新興国市場で日系・欧米系自動車部品メーカー向け販路拡大
- 実行施策: アジア
- ベトナム工場増強(ハノイ拡張、ホーチミン新設検討)
 - インド進出検討(事務所3ヶ所、将来は工場新設)
 - 中国・重慶営業所新設(2015年3月予定)
- ヨーロッパ
- 中欧新規進出(ドイツかチェコを検討)
- アメリカ
- 中南米ビジネス強化(メキシコ第2工場新設検討)



3-4. 重点方針 精密ばね事業(2)

②自動車市場での販売拡大

狙い : ばね需要の大部分を占める市場において成長機会を追究
日系およびドイツ系部品メーカーとの取引拡大

実行施策 : 国内自動車部品専用工場の新設

重点製品 : 自動車用締結部品(インサートカラー)



新工場の概要

- 場所: 埼玉県本庄市
- 面積: 敷地約12,000㎡ 延べ床面積約5,000㎡
- 投資金額: 約13億円
- 従業員数: 約30名
- 完成予定: 2015年中
- 生産額予想: 2~3年後に30億円



完成予想図

3-4. 重点方針 精密ばね事業(3)

③規格品ビジネスの拡大

- 狙い** : 新規顧客の開拓とカスタム品受注につながる取引拡大
- 実行施策**: ネット直販開始(4月に楽天市場オンラインショップ開設)
★販社2社と組んで3,100種類に増加、自社サイトも開設予定
商社経由販売、海外輸出等推進
- 重点製品**: 締結部品(タンダレス及び挿入工具、TAMONT他)、
ダンパー、プッシュアップ・ユニット

タンダレス・コイルスレド



(右がタンダレス)

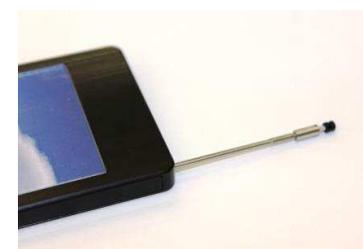
TAMONT



ダンパー



プッシュアップ・ユニット



(アンテナ先端部)

3-4. 重点方針 精密ばね事業(4)

④市場領域、技術領域の拡大

■市場領域の拡大: 医療機器、住設、インフラ、FA市場(組立装置等)

■技術領域の拡大: 絞り加工、両端研削、熱処理、メッキ内製等

船橋電子株式会社の買収(2014年4月)

狙い: 金属プレス加工分野において優れた深絞り加工技術を保有する会社を買収。
当社にない技術領域の獲得によって、金属加工の全領域をカバー。埼玉工場に技術移転し、自動車向けの製品展開を計画。



半導体基盤チェッカーピン

同社の深絞り加工製品

スマホ向けワンセグアンテナ



コネクタ

3-5. 重点方針 プラスチック事業(1)

①外資との事業連携

狙い : 中国、東南アジアにおける事業拡大

実行施策 : プラスチック事業を担当する子会社の49%の株式を台湾の能率集団(ABICOグループ)に譲渡。(2014年7月)
同グループの電子機器やOA機器の製造販売事業との連携により、生産能力と販売力を強化。



1965年に台湾で設立。現在は、国内外に15箇所の製造拠点と世界20カ国に販売拠点を保有。従業員は15,000人超。

(2014年7月31日時点)

3-5. 重点方針 プラスチック事業(2)

②海外における収益基盤の拡充

狙い : 顧客企業の海外展開案件の受注強化

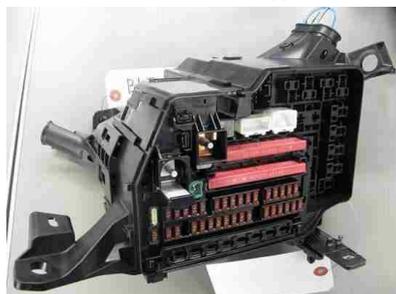
実行施策: 日系に加え中国系大手顧客向けグローバルセールス拡大
日本で開発、量産段階で海外生産移転

- ・ベトナム(自動車部品メーカー)

- ・中国(自動車部品、OA機器、電機メーカー)

(マレーシアにおいてはAV家電向け製品の販売減少に伴い合理化推進)

ベトナム工場



自動車用リレーボックス

中国工場



ギヤインジェクション
(パワーステアリング用)

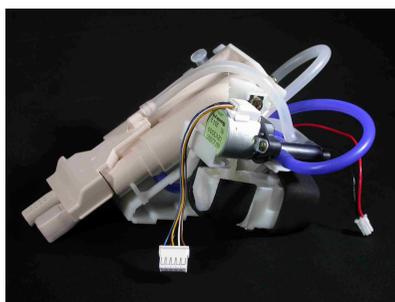
3-5. 重点方針 プラスチック事業(3)

③高付加価値商品の開発強化

狙い : 量産品が海外シフトする中で、国内で収益を確保

実行施策 : 自動車市場と住宅設備関連市場にフォーカス

- 自動車向け高精度ギヤユニット(センサー部品)
- 光軸調整ユニット(ヘッドライト部品)
- 高機能便座ユニット
- 冷蔵庫向け自動開閉ユニット
- セラミック製光通信コネクタ一部品



高機能便座ユニット



光通信コネクタ



ADVANEX

ご清聴ありがとうございました

(お問い合わせ先)

**株式会社アドバネクス
広報IR室**

TEL:03 - 3822 - 5865 FAX:03 - 3822 - 5873

URL:<http://www.advanex.co.jp>